教科名	家庭	科目	家庭基礎	単位	2単位

進学・特進共通　担当：鈴木佳子

1．教科書

高等学校　家庭基礎（大修館書店）

2．授業の目標および内容

たくさんの物と情報があふれている現在、自分らしい生き方・暮らしをするためには、今の時代にふさわしい知識とスキルが必要である。家庭基礎では、生きるための「基礎」を学び、実習や体験を通して、自分の頭で考え、これから自立して生きていく土台を作っていける学習をめざしていく。

特に、経済的自立は、青年期に身につけたい課題の一つである。自分の収入に合った生活をすることを学び、生き方や夢を実現するための人生計画にあった経済計画を立てられるよう学習する。

家庭基礎の対象は、「人」と「社会生活」に主に分かれる。18歳成人となり、高校3年生には成人となる。その自覚を促し、「成人になるとは?」を意識させる。一年後には、「一人で生きていける」知識、技能を習得することを意識する。

3．テスト

	1学期	2学期	3学期
定期試験	二次7月	二次12月	期末3月
学力試験	なし	なし	なし

内容・評価等について

定期試験は二次テストのみ実施。授業・実習に取り組む姿勢、課題に関する提出物の内容等を総合的に判断して評価する。実習は、作品の出来上がりと同時に、真摯に取り組む姿を大きく評価する。また、課題の提出・提出日厳守は、評価に大きな要素となる。

おおよその評価の割合　　※正式な評価基準は、各学期の始めに連絡します。

大きな作品を実施した学期：　二次テスト５０％　作品提出および内容等５０％～３０％
座学中心の学期　　：　二次テスト５０％　その他５０％
平常点として、ノート・プリント提出・チャイム着席・授業態度や忘れ物など。

4．長期休業中の課題

特になし

5．副教材・参考書等

学習内容のまとめと作業　家庭基礎学習ノート（東京書籍）
きそナビエプロン（クロッサム）

学期	単　元	学習内容	備　考
1	ガイダンス 第1章　生涯を見通す ①　人は生涯を通して発達する ②　青年期の課題 第2章　人生をつくる ①　人生をつくる ②　家族。家庭を見つめる 第7章　衣生活をつくる ①　衣生活の基礎知識 ②　基礎縫いの練習 　　エプロンの製作	・自立の達成を目指そう ・家族について考える ・家族、家庭の法律 ・洗濯実験 ・衣服表示の意味と理解	○評価基準 ○プリント ○君と未来のライフプラン ○家庭基礎学習ノート （大修館書店） ○界面活性剤の特徴を観察る ○きそナビエプロン （クロッサム） ○基礎縫いキット

	第３章　子どもと共に育つ ①　次世代をはぐくむ ②　子どもの生活と保育 ③　これからの保育環境	・親になるとは ・子どもの成長について	○プリント ○家庭基礎学習ノート （大修館書店）
2	第６章　食生活をつくる ①　献立つくり ②　食品の選択と表示 ③　食品の衛生 ○調理実習１ 計量の仕方 ○調理実習２ 災害時に役立つ炊飯の仕方 混合だしの取り方 ○調理実習３ ホットサンド ○調理実習４ 簡単おやつ作り	・五大栄養素の特徴を学ぶ ・食品の表示について理解し、適切に食品を選択できるようにする。品質表示やマークを読み取る力をつけ、目利きや旬、消費・賞味期限について学習する。 ・正しい計量の仕方を学ぶ ・災害時、また、アウトドアに役立つ炊飯を学ぶ 一人暮らしで簡単に作れる調理を学ぶ。 ・みそ汁の作り方 ・簡単に朝食作り（栄養のバランス ・ワッフル作り（小麦粉の特徴を知る）	○家庭基礎学習ノート （大修館書店） ○プリント 〈アミノ酸価をもとめよう！〉 ○栄養価、バランスを考える ○一学期作成のエプロン・三角巾・マスク ○プリント 〈第一回調理実習〉 ○プリント 〈第二回調理実習〉 ○プリント 〈第三回調理実習〉 ○プリント 〈第四回調理実習〉
3	第８章　住生活をつくる ①　私達と住まい ②　一人暮らしの住まい 第９章　経済生活を営む ①　私達の暮らしと経済 ②　消費者問題を考える	・将来、一人暮らしをする際の知識を学ぶ ・個々の「消費者」が「商品・サービス」を購入するお金の流れを考える ・社会人となった際のお金の収支、社会保険について学ぶ ・18歳成人となり、消費者問題に巻き込まれないように知識理解を深める。	○家庭基礎学習ノート （東京書籍） ○プリント（物件情報） ○プリント 〈給料明細をよみとろう！〉 〈年金の仕組みについて〉